

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-5 農山漁村の多面的機能の維持・発揮
---------	-----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農村整備課長 中藤 直孝	電話番号	0852-22-5176
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	中山間ふるさと・水と土基金事業		
目的	(1) 対象	県民等	
	(2) 意図	県民等が中山間地域等の農業や農村に関する関心を高め、農地等の保全活動に参加する。	
事業概要	中山間地域等の農業や農村に関する県民等の関心を高め、農地等の保全活動への参加意識を高めるために「しまねの農村景観フォトコンテスト」やコンテスト入賞作品の巡回展などを実施する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県民の理解向上度	目標値		14.0	14.0	14.0	14.0	回
		取組目標値						
	式・定義 代替：イベント等実施回数	実績値	14.0					
		達成率	—	—	—	—	—	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	—	—	—	—	—	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	18,269	23,864
うち一般財源(千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・平成27年度はイベント等を14回開催し、平成26年度の実績を上回る約16,900人の見学者・参加者があった。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

・フォトコンテスト入賞作品巡回の開催場所を調整したことやプレスリリースにより見学者の増に繋がった。  
・「島根にもまだまだ素敵で大切にしたい景観があることに気付かされました。」などの感想が多くあり、少しずつではあるが農業・農村の持つ役割や景観等が県民に認識されつつある。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

・巡回展等の見学者数は伸びているが、イベントの参加者(応募者)数は近年減少傾向となっている。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・イベントの開催についてのPRが少ない。

### ③原因を解消するための「課題」

・イベントの開催について、新たに表示する場所を検討しPRを図る。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・ホームページやプレスリリース以外に、マスコミ媒体を有効に活用しイベントのPRを図る。また、巡回展等の開催場所を人が集まる施設にする等調整しPRを図る。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価(任意記載)